

議会 ながいずみ

3月定例会

- 新年度予算を審議……………2
- ズバリ！町政を問う
8人が一般質問……10
- まちかどインタビュー……20

入園おめでとう
～中央保育園 入園式～



QRコード

2015. 5. 1
No.174

のまちづくり 後半へおりかえし

27年度 予算審議

総予算 226億 4,272万円を可決

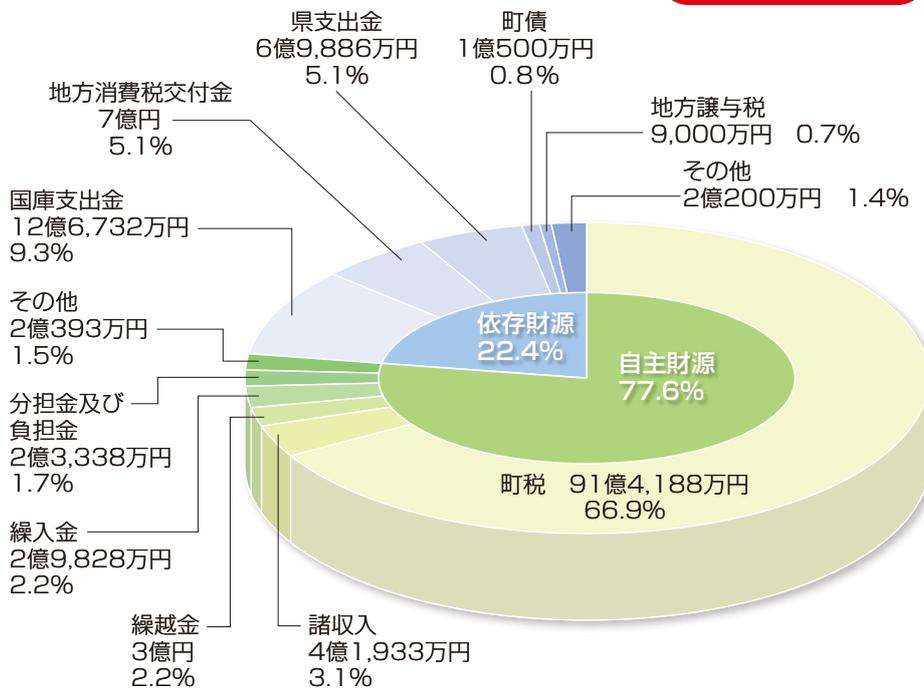
一般会計 前年度比0.7%増 136億6,000万円
特別会計 前年度比6.2%増 81億 751万円

施政方針



町長 遠藤 日出夫

入るお金



※ 1万円未満は切り捨ててあるため合計額とは一致しません。

主な町税の比較

町 税	27年度	26年度
個人町民税	28億5,800万円	28億4,600万円
法人町民税	10億3,350万円	11億5,043万円
固定資産税	43億8,700万円	43億8,500万円
軽自動車税	6,778万円	6,265万円
町たばこ税	3億円	3億200万円
都市計画税	4億9,330万円	4億8,390万円

27年度は、まちづくりの指針となる、第4次長泉町総合計画前期基本計画が最終年度を迎えます。町政を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、多くの課題が山積しておりますが、基本計画に沿ってこれまで積み上げてきた施策の着実な実行と検証を行い、その結果を後期基本計画に反映させ、当町のさらなる成長につな

げるための新たなまちづくりの出発点にしてまいりたいと考えております。引き続き、「健康づくり」「環境対策」「子育て支援」「高齢者支援」を、総合的、横断的に取り組みを進める重点項目に掲げ、社会情勢や多様化する住民ニーズに的確に対応し、町の将来を見据えた施策を着実に取り組んでまいります。

健康・環境・子ども・高齢者 10年間の

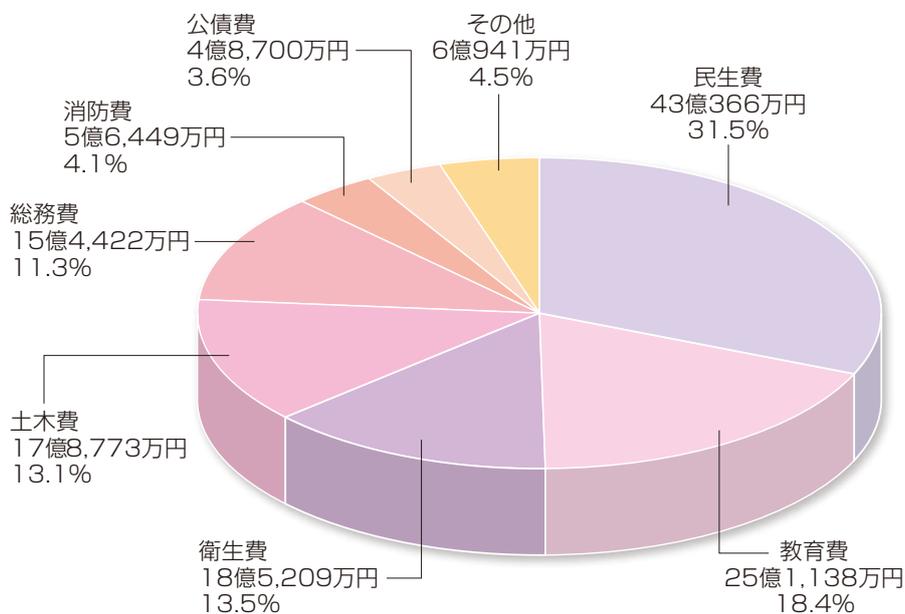
3月定例会は、3月2日から19日までの18日間の会期で開かれました。初日の本会議では、新年度にあたり町長の施政方針、教育長の教育方針がそれぞれ示され、それに基づく一般会計をはじめとする33の議案が提案されました。議案は各常任委員会で慎重に審議し、すべて原案通り可決しました。また、陳情が1件あり部分採択としました。

— 主な事業 —

- 新規**
- ◆ 地域産業立地事業費補助金：1千550万円
 - ◆ 三島市、裾野市及び長泉町消防指令センター共同運用負担金：410万円
 - ◆ 認定こども園施設整備補助金：1億400万円
 - ◆ 三島市、裾野市及び長泉町消防指令センター共同運用負担金：410万円
 - ◆ 健康づくりイベントの実施：1千万円
 - ◆ 精神保健福祉の専門対応窓口を開設：700万円
 - ◆ みんなニッコニコ健康プログラム事業：530万円

- 拡充など**
- ◆ 都市計画道路池田終線事業費：1億1千600万円
 - ◆ 社会保険・税番号制度対応：1億1千829万円
 - ◆ 伊豆半島ジオパーク推進費：2千338万円
 - ◆ 住宅用新・省エネルギーシステム設置費補助金：2千200万円
 - ◆ 給食調理・配達業務の全面委託化：9千550万円
 - ◆ 庁舎窓口空間創出事業：5千248万円

使うお金



※1万円未満は切り捨ててあるため合計額とは一致しません。

予算総額

会計	27年度	26年度
一般会計	136億6,000万円	135億7,000万円
国民健康保険	40億300万円	36億7,100万円
後期高齢者医療	6億3,400万円	6億3,600万円
介護保険	25億3,400万円	24億900万円
下水道	9億3,600万円	9億1,900万円
土地取得	51万円	42万円
水道	8億7,520万円	10億3,305万円

総務民生委員会 (主な内容)

良質なサービスが効率的に提供されるまち

行政改革の推進

庁舎窓口空間創出

5千248万円

質疑 事業の詳細は。
企画財政課長 来庁者のプライバシーに配慮したカウンターの整備やパラペットサイン、誘導サインなどわかりやすい案内表示のほか、より来庁者が利用しやすいよう一部部署の配置換えを計画している。

住民意識調査

234万円

質疑 調査の方法は。
行政課長 第4次総合計画後期基本計画の策定に向け、町内在住で20歳以上の3千人を電算処理により無作為抽出し、郵送で調査票の配付、回収を行う。

消防団資機材整備

830万円

質疑 資機材の内容は。
消防管理課長 簡易登録型デジタル無線、夜間照明用バルーンライトおよび発電機、消防ホースなどの整備を行う。

精神保健福祉の窓口

700万円

質疑 専門対応窓口の開設場所および体制は。
福祉保険課長 受託先となる専門機関から派遣された専門員1人を福祉保険課内に常駐させる。

ファシリテイマネジメント

3億319万円

質疑 公共建築物の維持保全を対象とした修繕、工事費は。

企画財政課長 小学校1億2千78万円、中学校1億3千万円、幼稚園2千800万円、その他施設420万円、また、設計費は、小学校1千83万円、中学校608万円、その他施設330万円、総額3億319万円である。

業務継続計画(BCP)

540万円

質疑 策定の内容は。
地域防災課長 26・27年度の2カ年で策定予定である。26年度は、災害時に各部署が対応する業務の洗い出しや、優先度などを検証・調査した。27年度は、職員数、既存設備などを基に各業務のタイムラインを策定する。

健康づくりイベント

1千万円

質疑 イベントの詳細は。
健康増進課長 これまでの住民参加型のダンスイベントに加え、健康公園内を複数人でたすきをつないで走るリレーマラソンや、町内のジオポイントや史跡などのチェックポイントの写真を撮りながら回るフォトロゲイニングを実施する。

桃沢キャンプ場整備費

700万円

質疑 具体的な内容は。
健康増進課長 桃沢キャンプ場内の全体的なレイアウトの検討に加え、桃沢野外活動センター、桃沢工芸村、桃沢グラウンドを含めた桃沢エリアにある公共施設の一体的な管理運営をはかるための将来的な可能性を探る調査を実施する。



※パラペットサイン…横長の頭上に設置された看板のこと。

27年度に
予定している主な
工事箇所などへ行き、
調査しました。

現地調査

竹原グラウンド駐車場改修工事
(3,500万円)



長泉中学校防災倉庫建替工事
(841万円)



防災倉庫ソーラーパネル設置工事
(1,260万円)



桃沢グラウンド排水施設等改良工事
(5,900万円)



桃沢野外活動センター
雨天体育施設塗装替改修工事
(1,330万円)



桃沢野外活動センター
宿泊棟屋根塗装替改修工事
(1,125万円)



建設文教委員会 (主な内容)

地球環境と安全・快適な生活環境を守るまち

行政の効率化へ

一般廃棄物収集運搬
業務の全面委託化

7千597万円

質疑 入札方法・契約期間は。収集方法の変更などで、住民サービスの低下につながらないか。
くらし環境課長 指名競争入札で、3年間の長期継続契約を予定している。町が決めた収集方式で受託業者が適正に収集しているが、管理指導を行い住民サービスの低下しないように徹底する。

ジオパーク
ビクターセンター

1千700万円

質疑 整備の内容は。
産業振興課長 展示パネルの設置スペースやインターネット環境、映像放映機器、地形の立体模型などの設置も計画している。

住宅用新・省エネルギー
システム設置補助金

2千200万円

質疑 LED補助金の内容、補助対象は。
くらし環境課長 省エネルギーの高いLEDを普及させるためのもので、町内在住の一般家庭向け補助金制度である。補助対象は、蛍光灯照明器具をLEDに交換する場合に、総額が2万円以上になった場合、2分の1の金額を助成するもので、補助額の上限は2万円である。

コミュニティなが
いずみ工事請負費

9千万円

質疑 工事請負費の内訳は。
生涯学習課長 外壁タイルなどの改修工事が5千万円、電気設備改修工事が4千万円である。

給食調理・配送業務の全面委託

9千550万円

質疑 専門性や柔軟性を取り入れるとはどのようなことか。
学校給食センター所長

調理技術や安全教育をはじめとした人材育成面の専門性のほか、業務に合った調理従事者の効率的な配置や、必要に応じては外部からの補充も可能といった業務体制面での柔軟性である。

認定こども園
施設整備補助金

1億400万円

質疑 補助内容、人数及び対象となる幼稚園はどこか。
こども育成課長

対象は、建物建築費と設計費である。認定こども園に移行する幼稚園は、町内に所在の私立幼稚園で、認定こども園に移行することで、0〜2歳児の受け入れが、41人確保される計画である。

都市計画道路

池田柵線

1億1千600万円

質疑 現在整備中の都市計画道路の進捗状況は。
建設計画課長 26年度末

見込みで、池田柵線の三島市行政界から高田上土狩線までの間は、県が三島裾野線として整備を進めており、用地買収の進捗率は面積ベースで100%、工事進捗率は事業費ベースで70%である。町が整備を進めている池田柵線Ⅱ工区の用地買収の進捗は100%契約が完了しており、工事進捗率は76%である。27年度、供用開始を目指している。



現地調査

元長窪地内農道改修工事

(500万円)



町民体育館 1階トイレ改修工事

(2,160万円)



池田柵線整備工事

(5,000万円)



公共下水道事業

(8,400万円)



コミュニティながいずみ施設整備

(9,000万円)



ビジターセンター整備工事

(1,700万円)



特別会計予算審議 (主な内容)

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道、水道

国民健康保険

質疑 特定健診の集団健診の実施方法は。
健康増進課長 年4回、日曜日にウエルピアながいずみを会場に実施する。

介護保険

質疑 認知症サポーター養成講座の開催回数と26年度の実績は。
長寿介護課長 地区や団体などからの要望により、日程を調整し開催しているため、特に回数は決めている。26年度は、2月末までに11回開催し、273人が受講した。

水道事業

質疑 長窪第2配水場拡張事業の内容と規模は。
上下水道課長 27・28年度の2カ年事業として行う。容量680㎡の配水池を築造し、その他附帯工事として電気設備工事などを行う。これにより、第6次事業認可に伴う主な設備投資は完了する。

後期高齢者医療

質疑 健康診査事業の拡充とは。
福祉保険課長 国保被保険者が後期高齢者医療制度移行後の健診でも、移行前と同じ検査項目で受診できるように、項目を町独自で設定している。また、新たに特定健診の集団健診を行う。

下水道事業

質疑 下水道事業計画変更の拡張区域である三島駅北口周辺の、整備予定は。
上下水道課長 26年度は、当該区域の一部の実施設計を行った。27年度は、薄原下第一広場東側の幹線管渠布設工事を実施する予定である。



26年度補正予算 (主な内容)

長泉町・ワンガナイ市
交流センター売却
歳入2千945万円増額

臨時福祉給付金
歳出8千439万円減額

プレミアム商品券
発行
歳出2千200万円増額

質疑 売払収入の算定根拠は。また、売払いに関する手数料の支払い方法は。
行政課長 31万N.Zドルで売却予定である。過去4カ月間のN.Zドルの為替相場を勘案し、1ドル95円で予算計上した。また、不動産業者などへ支払う手数料は、交流センターの管理委託費から別途支払う。

質疑 対象者数と最終給付率は。
福祉保険課長 26年度の課税状況から事業の対象者数を5千564人と見込むと、最終給付率は72.35%となる。

焼却場管理費

歳出600万円減額

質疑 減額の理由は。
くらし環境課長 焼却炉に使用する冷却水を、焼却場から発生する汚水のうわ水を再利用することで、処分する汚水量が減り、減額につながった。

財政調整基金
公共施設長寿命化基金
歳出4億6千261万円増額

質疑 26年度末残高の見込みは。
企画財政課長 今回の補正予算の積み立てを含め、財政調整基金は47億8千632万円、公共施設長寿命化基金は10億141万円を見込んでいる。



前回のプレミアム商品券

質疑 プレミアム商品券発行事業の内容は。
産業振興課長 国の経済対策として交付される、地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、地域内消費を喚起するため、プレミアム付き商品券の発行を町商工会が実施し、町はその事業費を補助する。プレミアム率は10%、商品券は額面1千円券を1枚綴り1万1千円分を1万円で、1万8千セット販売する。6月以降の販売を予定している。

条例の制定・一部改正の審議（主な質疑）

長泉町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例

子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、幼稚園、保育園などを利用する保護者が負担する利用者負担額の範囲を条例で定めるもの。

長泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法などの改正に伴い、課税限度額を見直すため、国民健康保険運営協議会に諮問し、答申を踏まえ、条例の一部を改正するもの。

長泉町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令などの改正に伴い、保険料率や介護予防・日常生活支援総合事業などの必要な事項を定めるため、条例の一部を改正するもの。

条例の制定

長泉町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

長泉町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例

長泉町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

長泉町教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

条例の一部改正

長泉町行政手続条例の一部を改正する条例

長泉町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

長泉町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

長泉町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会の設置

質疑 消防通信指令施設の運用開始の時期は。
消防長 27年10月の予定である。

質疑 「広域消防運営計画」とは。策定の時期は。
消防長 広域化後の消防の円滑な運営を確保するための基本方針、消防本部の位置・名称、市町村の防災に係る関係機関相互の連携の確保に関する事項を定めるもの。策定の時期は、27年夏を見込んでいます。

質疑 「協議会の事務所」を三島市消防本部に置くとなっているが、長泉町の職員は常駐するのか。
消防長 事務局職員は非常勤を想定している。

意見書の提出

静岡県看護連絡会から陳情書が提出され、審議の結果、部分採択となり、意見書を提出しました。

「看護職員の勤務環境の改善を求める意見書」

質疑 新たに幼稚園と保育園の保育料が算定され、利用者負担額に変更は。

また、在園児と新入園児との間で、負担額に相違は。
こども育成課長 現段階では、在園児と27年度入園児の利用者負担額の変更は考えていない。ただし、幼稚園保育料は、今後、新制度の趣旨に沿って、周知をはかりながら検討していく必要がある。

質疑 限度額の改正による影響は。

福祉保険課長 後期高齢者分で226世帯、介護分で71世帯を所得に応じた賦課をすることで、それぞれ約405万円、約126万円の増となる。

質疑 高齢者が増加している現状で、介護保険料

基準額が前期と同額の4千900円となる主な要因は。
長寿介護課長 介護報酬の引き下げと、特別養護老人ホームの新規入所者が原則要介護3以上に限定されたことや、一定以上の所得のある利用者の自己負担引き上げによるもの、また当町の要介護認定率が低いことなどが主な要因と考える。

ズバリ!

町政を問う

◆ 8人が一般質問 ◆

- 1** 四方 義男 議員
1. 町の持続的発展と魅力の発信をはかる
- 2** 藤村 郁人 議員
1. 町政の進め方は
- 3** 下山 哲夫 議員
1. 若い世代が希望の持てる地域にするには
- 4** 栗原 睦明 議員
1. 安心安全なまちづくりを
2. 食と文化の充実を
- 5** 宮口 嘉隆 議員
1. 空き家対策は早めに
2. 2駅拠点のニコニコ巡回バスを
3. 営業力の強化を
- 6** 杉森 賢二 議員
1. 笑顔あふれる、人にやさしいまちづくりを
2. 中小企業活性の対応は
3. 子どもたちが夢を持てるスポーツ振興を
- 7** 小永井 康一 議員
1. 町の隠れた観光資源を探る
2. 内外に向けて新しい町のイメージのPRを
- 8** 大沼 正明 議員
1. 三島競馬場を検証し、郷土愛の醸成や観光資源として活用を
2. 御嶽堂公園を防災公園に
3. AED（自動体外式除細動器）の設置状況や、課題は
4. 町の所有車にドライブレコーダーの搭載を

一般質問とは…議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など諸問題について、報告や説明を求めたり質問することをいいます。



四方 義男 議員



ジオパーク関連は総合的な整備で

Q

地方版総合戦略で得意施策の強化を

A

他自治体より勝る子育て支援策を柱に推進する

施策アイデアは

人口増加を

ふるさと納税

ジオパーク

問 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対し、どのように対応していくのか。町の持続的な発展のために子育て施策のさらなる推進の取り組みは。

問 人口維持と増加のため、町の立ち位置と今後についても考えていくべき。全国で人口増加モデルとなっている自治体の研究はどうか。

問 知恵や企画力を集め、ふるさと納税を利用した魅力発信はどうか。

問 ビジターセンターの設置を機に、近隣自治体と協力し、情報提供や資料開示を進め、町内の店舗に立ち寄る仕組みづくりは出来ないか。

総務部長 総合計画の後期基本計画と整合をはかりながら、27年度中の地方版総合戦略策定を目指して取り組んでいく。総合計画において子育て支援は重点項目であり、子育て施策が充実し、多くの自治体の中から当町が選ばれる中、健全な財政運営を堅持する町だからこそできる強みをさらに生かし、他の自治体より勝る子育て支援策などを戦略の柱のひとつとして策定を進める。

部長 町のこれからの発展のためには、他の自治体で先進的に実施している施策や事例などを調査・分析した中で、町の発展につながる施策は後期基本計画策定の検討の中で研究していく。

部長 ふるさとや愛着のある自治体の再生や地域づくりに貢献する、いわゆるクラウドファンディング的な寄附は、本来のふるさと納税の趣旨に沿ったものと認識している。地方創生の一環として、今後ふるさと納税制度の仕組みの中で何が住民に有益か研究していく。

教育部長 観光交流協会と連携し、学芸員がジオサイトの学習会の案内役を務めるなど取り組んでいる。コミュニティが、いずみ内にビジターセンターを整備するにあたり、文化財展示館を充実させていく。

産業振興課長 商工会や観光交流協会などと協議連携し、途中の遺跡や史跡に立ち寄る文化活動や店舗マップによる経済活動につながる環境づくりの支援をしていく。



整備案の決定が待たれる火葬場



藤村 郁人 議員

Q 火葬場の整備は

A 裾野市との共同調査を見て判断したい

早期に計画を

問 裾野市からの共同整備申し入れへの回答は。

町長 27年度に裾野市と共同実施する「火葬場整備可能性調査」の結果を踏まえ判断し、回答する。

問 ①現施設地②町内の他地域③裾野市との共同

設置④その他といった整備案が考えられるが、町長の判断は。

町長 町民代表で組織した「火葬場計画検討委員会」は裾野市との共同設置、議会の「火葬場整備促進特別委員会」は現施設地が望ましいとされており、すでにこの2案に選択肢は絞られていると判断している。

問 整備案の選択の動きが見えない。両市町の施設は老朽化が進んでおり、早めに方向性を示さなければならぬ。町民の理解を得ることが必要不可欠との提言もある。決定に至るまでの流れをどう考えるか。

町長 共同調査は、施設の機能、規模、概算事業費などの取りまとめを行

うもので、6カ月程度を有する予定であり、この調査結果を踏まえ、早期に判断したい。その際には、議会や区長会への説明に加え、町広報などにより町民に理解いただけるよう努める。

Q インフラ構想は

A 今後も、可能な箇所は整備・改良を行う

生活道路の整備を

問 今後の人口想定は。

総務部長 27年度に人口動向分析や将来展望を勘案した調査をかけ、ビジョンを策定する。

問 幹線道路の整備は進んでいるが、生活道路は

あまり変わっていない所もある。生活道路の整備計画は。

都市環境部長 幹線道路や生活道路の体系的な整備を進めている。生活道路は部分的な改良を行うことで、事業効果を上げている。今後も、可能な箇所は整備・改良を行う。

問 一方通行による通学路の拡張を。

総務部長 通学路の安全対策は交通指導員などの街頭啓発や、グリーンベルトの設置を進めている。一方通行は、問題点多く考えていない。

問 ジオパークに合わせた下土狩駅周辺の商店街などの整備は。

町長 商店街の活性化をねらった面的整備は、簡単に進められる状況ではない。下土狩駅とジオパークを結ぶ歩行者ネットワークの構築を進める。



下山 哲夫 議員



桃沢野外活動センター

利用種別	利用形態	建物利用		屋外利用	
		人数	団体数	人数	団体数
建物利用	中学生以下	団体	132	団体	43
		男	11,544	人	1,326
		女	10,180	人	1,159
		合計	21,724	人	2,485
	高校生・大学生	団体	11	団体	6
		男	485	人	214
		女	501	人	24
		合計	986	人	238
	一般	団体	17	団体	1,020
男		836	人	2,854	
女		637	人	3,158	
	合計	1,473	人	6,012	
屋外利用	中学生以下	団体	43	団体	43
		男	1,326	人	1,326
		女	1,159	人	1,159
		合計	2,485	人	2,485
	高校生・大学生	団体	6	団体	6
		男	214	人	214
		女	24	人	24
		合計	238	人	238
	一般	団体	1,020	団体	1,020
男		2,854	人	2,854	
女		3,158	人	3,158	
	合計	6,012	人	6,012	

問 桃沢野外活動センターの大人や子ども、男女別の利用状況はどのようになっているか。
健康増進課長 25年度の建物の利用状況は、年間2万4千183人が利用している。屋外の利用は、年間8千735人が利用している。

問 今後、桃沢野外活動センターを拠点としての活用はどのように考えているのか。
住民福祉部長 桃沢野外活動センター・桃沢グラウンド・桃沢キャンプ場は、指定管理者制度を導入し、NPO法人長泉町体育協会が、桃沢工芸村は町が直接管理運営を行っている。これらの施設の一体的な管理運営を

はかることで、「自然との共生」を実現し、桃沢地区の活性化につながると考えている。桃沢野外活動センターを含む4施設の一括指定管理制度の導入に向けた管理運営を行うことへの調査業務を実施したいと考えている。

問 農業振興地域内における市民農園・体験農園の開設に際し、トイレや駐車場の設置は。
産業振興課長 都市住民などの非農業者が農地を利用することから、農地の諸規制により安定した形での利用ができなかったが、「特定農地貸付法」や「市民農園整備促進法」といった法律が制定され、農業振興地域内でも農地を農園として利

用することが可能となっている。それにより、都市と農村の交流がはかられ、農村の活性化が期待される。トイレや駐車場の整備は、法律の適用によって取り扱いが異なるが、具体的な話があれば、その都度相談などの対応をしたい。

Q

次世代に夢と希望を

A

都市と交流がはかられ活性化が期待される



新鮮な地域の野菜



栗原 睦明 議員

Q 安心安全な町づくりを

A より一層の防犯意識の向上をはかる

問 詐欺事件の防止を

問 住民への情報提供の必要性の見解と、今後の対応は。

問 登下校中の変質者に対する対応は。

問 子どもたちが巻き込まれる犯罪が身近でも発生している。このような状況下、当町でも対策が必要である。GPSを子どもたちに所持させることが各地で検討されているが、町の考えは。

問 現在の状況は。

地域防災課長 26年の振り返り込め詐欺件数は3件発生し、うち2件は多額の現金を振り込んでいる。

課長 被害を未然に防ぐための注意喚起や情報提供などに加え、「長泉町安全安心ガイドブック」を作成し、全世帯に配布して詐欺防止や防犯意識の向上をはかる。

こども育成課長 情報が入りしだい関係機関に情報提供し、教職員による見回り、メール連絡システムなどで家庭へ情報発信している。また、学校では対処法を指導している。

教育部長 現段階では、GPSの所持は考えていない。

また、「オレオレ詐欺・架空請求詐欺」などの電話が多数あった。

また、「オレオレ詐欺・架空請求詐欺」などの電話が多数あった。

また、「オレオレ詐欺・架空請求詐欺」などの電話が多数あった。

また、「オレオレ詐欺・架空請求詐欺」などの電話が多数あった。

Q 地産地消による食と文化の充実を

A 地元農畜産物の利用拡大をはかる

地産地消の充実を

問 地産地消をどのように促しているか。

給食センター所長 給食

食材に地元特産品などを積極的に活用するため、町予算で1千800万円を食材購入費に充て、地産地消事業を行っている。

産業振興課長 町内産農畜産物を利用した事業で、幼稚園・保育園などに賄

問 遊休農地の有効利用のため、栽培した作物を

所長 学校給食の食材として取り入れる事業に対しての見解は。

学校給食の食材として取り入れる事業に対しての見解は。学校の購入は、年間を通じて、計画的に安定して品質と一定量が確保できれば可能と考える。

問 学校給食の今後の課題は。

教育部長 学校給食運営の安定化のほか、アレルギー対応などの安全管理面や、食育活動の推進なども、今後一層の充実が必要である。



宮口 嘉隆 議員



巡回バス発車を

Q 空き家対策は早めに

A 喫緊の課題でなく、地域との連携で対応する

個人財産への介入

問 空き家の状況は。

建設計画課長 空き家総

数3千610戸、内訳は別荘40戸、賃貸2千820戸、売却用住宅230戸その他520戸。所有者が特定でき、問題となる空き家は少ない。

問 適切管理のない状態が長期化し、他人の生命財産に危険を及ぼすことへの見解と、個人財産への介入の見解は。

課長 空き家の放置は安全性の低下、環境の悪化、景観の阻害など周辺住民の生活環境に影響を及ぼす。個人財産への介入は慎重に対応する必要がある。

問 関係各課で連携し指導・助言を行っている。

問 建物の有無による固定資産税の差が放置家屋の一因とされているが。

住民福祉部長 住宅用地の特例で軽減があるが、更地には特例がない。

問 今は問題がなくても、国の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の活用で、早めの対策を。

町長 法律は空き家への立入調査・代執行の措置など対策の足掛かりになるものだが、当町では、深刻化していない状況であり、まずは、地域と行政の連携で対応していく。

Q 2 駅拠点の「ニコニコ巡回バス」発車を

A 高齢者福祉で外出支援の充実を優先する

高齢者の健康対策を

問 運転免許証返納者の増加により、高齢者外出支援の必要性は高まっている。長泉なめり・下土狩駅を拠点に三島駅北口も経由する2路線で町内を循環する自主運行バス「ニコニコ巡回バス」こ

そが高齢者・健康増進対策では。
総務部長 運転免許証返納者の増加がバス利用者増加につながっていない。採算面で非常に厳しく、新規の桜堤線も、早くも赤字となった。しかし、高齢者など交通弱者の移動手段確保は重要な課題であり、都市計画道路沿

津三島線などの整備を見据えたうえで、新たな民間バス路線導入に向けた調整や、現在の「長泉・清水循環バス」の路線変更などを検討する。

問 高齢者の足の確保の町の構想は。

町長 まずは、現に通院や買い物など外出に困っ

ている高齢者へ、直接的な手当てをはかる高齢者福祉施策としての外出支援策の充実を優先する。



中学生も参加した町民バレーボール大会



杉森 賢二 議員

Q 笑顔あふれる、人にやさしいまちづくりを

A バリアフリーの意識が浸透するよう努める

問 障がい者就労支援、就労サポート体制は

問 町内施設で行う就労支援事業を推進するため

問 障がい者雇用の現状

問 地域包括ケアシステム構想の計画は

問 高齢者の居場所づくりは

問 外国人語適応の看板、アプリ、ウェブの対応は

問 心のバリアフリーは

問 外国語適応の看板、アプリ、ウェブの対応は

問 企画財政課長 道路標識の案内看板は英語表記を含む内容に順次更新し、アプリやウェブも含め必要に応じ整備したい。

Q 子どもたちが夢を持てるスポーツ振興を

A 積極的に取り組む姿勢を育成することが必要

問 スポーツ推進の考え

問 オリンピック事前合宿誘致の計画が実現した場合の一流アスリートとの交流は

問 健康的なスポーツの環境整備のため、町内既存公園の有効活用は

問 グラウンド、体育館、コートの年末年始など有効活用は

問 住民福祉部長 利用のニーズを確認し、管理運営面から、利用可能な施設を検証するなど指定管理者と検討していきたい。

問 子どもとスポーツの関わりに対する考えは

部長 高いレベルを目指す子どもたちへの支援も大切と理解しているが、スポーツの楽しさを実感し、仲間づくりや交流などについて学んでいくことが重要であると考えている。

問 効果的なスポーツの環境整備のため、町内既存公園の有効活用は

問 工事管理課長 健康器具などの設置も視野に、利用形態を含め、地域と相談しながら進める。

問 健康増進課長 実現した場合は、町民とのスポーツ交流や、地域の行事などの文化交流、学校における教育交流などを考える

問 子どもの健康器具などの設置も視野に、利用形態を含め、地域と相談しながら進める。

その他の質問 中小企業活性の対応は



小永井 康一 議員

長 泉 町 歌

作曲 上田治史
作詞 友永志津

あか ね さ す あ さ き せ て か
の に は せ か す さ も せ う え て あ
の み ず は ば り む く も の は の か わ り か
が や け る の む の の ふ じ が ね す
め や っ ぼ の の め た き は と ど か ら じ こ ひ
と が う み は ほ か り な が こ ろ ろ
と だ し の に さ と は な な か こ か ろ う あ
あ う わ し な き り な が い す み
あ る か し な き り な が い す み

24年前に制定された町歌

Q

新しい考え方で町の魅力の発掘・発信を

A

関係団体などとの連携で対応していく

新しい観光の取り組みを

問 ファルマバレープロジェクトの立地をいかした医療観光の可能性は。

産業振興課長 医療施設

や先進医療企業の施設を観光資源として活用することは、受入体制など課題があり、困難と考える。

問 ジオポイントのゴミ対策・草刈りの推進を。

課長 現在、町には10カ

所のジオポイントがある。鮎壺の滝では昨年度から商工会青年部や地元自治会などが清掃ボランティア活動を実施している。これを広報誌などを通じて紹介することで、今後自治会や関係団体などが主体となった自主的な取り組みが町内全域に広がることを期待する。

問 ※ドローンを活用し、新しい視点から見た空撮動画を使ったPRを。

課長 費用対効果や使用

上の問題もあり、機材を購入して撮影することは考えていないが、既存の動画があり、活用できる状態であるなら検討する。

問 テレビ番組のロケ地の誘致で観光客の呼び込みに成功しているが、町でもフィルムコミッションのプロジェクトチーム発足を。

課長 当町がこれまで、数々の映画やテレビなどのロケ地として活用されたことは認識している。問い合わせや協力要請があれば観光交流協会などと連携して対応しており、プロジェクトチームを立ち上げることは考えていない。

問 当町の風景を、アニメの背景として使ってもらうことを提案する。アニメを見る若い世代が町に来るきっかけになるかと考えるが。

課長 具体的な要請があれば内容により対応する。

町制60周年

問 東京オリムピックの開催年となる町制60周年を機に、町の内外の顔

ある町章をカラフルなデザインに更新する考えは。
総務部長 昭和31年に制定された歴史あるデザインであり、広く周知されているため、更新する考えはない。

問 町制30周年を記念して更新された町歌の知名度が低いように思う。町歌をスポーツフェスティバルで歌うなど、普及の機会を増やすことが必要と考える。歌いやすいメロディーへの更新も含めて町の考えは。

部長 町歌が、町民に十分浸透していないことは認識している。町歌は町民の誰もが郷土に誇りを持ち、一体感を感じられることを目的として制定されており、更新は考えていないが、今後ホームページに掲載するなど、町民に歌詞や曲を聴いてもらう機会をつくってきたい。

※ドローン…ラジコン操作による無人航空機のこと。UAVともいう。



県営三島競馬場



大沼 正明 議員

Q 三島競馬場を検証し、郷土愛の醸成を

A 地元で語り継いでもらいたい

観光資源として活用を

問 廃止から60年近くになる三島競馬場は現在の竹原グラウンドを中心にあつたようだが、地域の中でも風化が進んでいる。長泉村がレースを主催した事実もある。また、町内では他にも忘れ去られ

ようとしている事象が数多くあるが、過去には競馬場の検証があつたか、また今後の予定は。

生涯学習課長 検証した事はないが、竹原区が編さんした竹原区誌に詳しく出ている。竹原区誌は町の図書館にあり貸出し

問 競馬場コースの痕跡である馬頭観音や眼鏡橋には一本桜もあり、近く

「水」がある。観光ルートとして周辺整備を。
都市環境部長 観光活用は考えないが、町が管理する道路、河川の区域は、

今後景観や周辺環境に配慮した維持管理を実施する。

Q AED(自動体外式除細動器)の設置状況や課題は

A 管理上の面を含めて研究する

AEDの現状は

問 町施設に設置されたAEDの数と使用時間は。
健康増進課長 町内の公

問 ウェルピアながいずみ利用者に取り扱いの受講を勧める考えは。

課長 施設利用者の誰もがAEDを取り扱いできれば、より安全が確保できると考える。今後、消防署と連携し、取り扱い講習会の受講を促したい。

問 役場職員はAEDを取り扱えるか。
行政課長 職員は普通救命講習を計画的に受講している。取り扱う可能性のある部署の臨時職員は、今後新規採用職員を対象とした講習に併せ受講を計画する。

問 教職員や中学生の受講は。
子ども育成課長 小中学校の教職員は、計画的に普通救命講習を受講している。長泉中では生徒が保健体育の授業でAEDの取り扱いを学習している。

期待しています

私の要望・意見

今まで広報を見ると、行事欄や自分が気になる範囲しか目を通していませんでした。しかし、先日、成人したことで意識が変わり、これからは町政にも目を向けて、長泉のこれからを考えていきたいと思えました。80歳になっても、自分の歯を20本保てるよう、子どものうちから虫歯に気を付ける働き掛けを大切にしたいです。

(20代 女性)

こども医療費充実と子どもへの制度、大変ありがたく思います。また、子ども・子育て支援新制度に向けても、より積極的な取り組みがあると感じました。70歳以上の高齢者にはインフルエンザ予防接種の補助が提供されているのに、保育園や幼稚園で感染する可能性が高い子どもには、補助がないのに疑問を感じています。

(40代 女性)

一番最初に目についたのは、小学校の英語教育の今後についての記事です。今や企業に入ると海外出張が当たり前の時代になり、今後もっと英語が必要になりますので、英語教育の改変には大いに賛成です。ほとんどの日本人が母国語である日本語プラス英語が話せるようになるのが理想です。

(10代 女性)

議会報告会の記事を読みました。参加者に20代未満と20代の若い世代が少ないことに驚きました。もっと若い人にも興味を持てるような会にして欲しいと思うと共に、私たち町のことにもっと関心を持つべきだと思います。

(10代 女性)

議会報告会参加者に若い方の参加が少ないようです。若い人に報告会への参加を促す活動をされてはいいですか。

(60代 男性)

電子黒板の導入は良いことだが、費用であったり、使い勝手が本当に良いものか、現場の意見を参考にして検討して欲しい。

(20代 男性)

会議録もご覧下さい!

議会ながいずみでは、紙面の都合により内容を要約してあります。質疑・答弁の詳細は会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町民図書館・役場行政課・議会事務局にあります。また、町のホームページでもご覧いただけます。

※26年11月定例会分まで掲載されています。

6月定例会は
6月8日(月)に開会予定です



小水力発電設備を視察

桜堤の久保田川に設置された小水力発電設備を全議員で視察しました。民間団体が設置したもので、発電出力8kw、年間発電量は一般家庭4件分の4万9,000kwです。小河川で防災減災に役立つ「小水力発電装置」の設置は、県内初となります。災害時における電力の供給に関する協定を締結し、災害発生時には町に電力供給されます。



長泉町のタウンセー
事業、子育てママライ
「ママラッチ」として、活
躍されている原分在住の寺
田望さんにお話を伺いま
した。

活動を始めたきっかけは。
寺田 近隣地域より長泉に
引越してきて、生活に役
立つ情報をもっとあり、マ
マ同士の交流をもっと増や
したいという思いがありま
した。

現在どのような活動を行
っていますか。
寺田 昨年11月より、町の
公認ライターとして、子育
てママ7名で子育て世代に
合った情報取材してサイ
トを活用し、ブログやSNS
で広く伝え、ブランドカ
のある長泉町の魅力を発信

しています。ママさんジャ
ーナリストとして、町内イ
ベントや企業などに出向き、
対話を大切に、柔らかいイ
メージで情報を伝えられる
よう心掛け取り組んでいま
す。

視察もあり、今メディア
で話題となっていますが、
これからの取り組み、今後
期待することは何ですか。

寺田 新たな仲間を迎え入
れ、ママの個性を生かし、
新たなカラーを出していき
ながら、住み続けたいと
思ってもらえるよう情報を
伝えていきたいと思いま
す。

(杉森)



わが町 たんけんクイズ

ここは
どこ
でしょう?

Vol.112



「一般廃棄物最終処分場」
ヒント：燃やせな〜

町内にある施設の名前
を出題します。○の中に
入る言葉をお答えくださ
い。正解者の中から抽選
で10人の方に図書カード
を贈呈します。

応募方法

●はがきにクイズの答え、
住所、氏名、年齢、電
話番号、議会ながいず
みの感想を書いてお送
りください（お寄せい
ただいたご意見は紙面
で紹介させていただきます）。
●宛先

※メ切は6月1日(月)
消印有効です。当選者
の発表は賞品の発送を
もってかえさせていた
できます。
〒411-8668
長泉町中土狩 828 番地
長泉町議会
広報広聴委員会

前回の正解は
「ず」でした。
(応募総数32通)

編集後記

町の新年度予算を決め
た3月定例会の内容をお
届けします。

認定こども園の整備や
町民の皆様が待ち望んで
いた池田終線の三島市境
から健康公園南側旧24
6交差点までの一部区間
が27年度開通予定です。
また、町民向けには、4
月からLED照明器具へ
の補助金やプレミアム商
品券が6月以降販売され
ます。ご利用ください。
今年度も健康・環境・
子ども・高齢者の重点項
目を中心に1年間の予算
執行が行われます。議会
としてもしっかりチェック
をしてまいります。

発行責任者

議長 溝口伊佐雄

広報広聴委員会

委員長 山田 勝
副委員長 宮口 嘉隆
委員 栗原 睦明
下山 哲夫

大沼 正明
小永井康一
杉森 賢二